

# 地域医療連携だより

## 第18回「地域連携の会」3年ぶりに対面でも開催

京都岡本記念病院主催の「地域連携の会」が10月22日に開催され、地域の先生方、当院の医師や職員ら合わせて約90名のご参加をいただきました。地域の医院・病院との連携を深めることを目的とした本会ですが、去年はコロナ禍でオンライン開催となり、今回は3年ぶりに対面とオンラインとの併用で実施いたしました。

京都岡本記念病院で地域連携を担当する牧野雅弘副院長の進行のもと、高木敏貴院長があいさつに立ち、綴喜医師会 会長安田美希生先生からは「綴喜医師会の2市2町から京都岡本記念病院までは、淀や松井山手からのバスなど交通の便もよい。この会でさらに関係が深まると期待します」とのあいさつを賜りました。

特別講演では京都府立医科大学 循環器内科 全完准教授が「structure heart disease に対するインターベンション治療」と題して登壇。当院でも本年11月から開始するTAVI(経カテーテル大動脈弁植え込み術)について、高齢者や透析患者への適応を最新データで解説しました。

続いて京都岡本記念病院 泌尿器科 山田恭弘部長が、「ダビンチを用いた手術の実際について」と題して、当院でも本年から実施が開始された低侵襲ロボット支援手術の前立腺がん治療におけるメリットなどについて講演しました。

先進的医療に対して会場からは熱心な質問も寄せられ、両演者から丁寧に回答いただきました。

診療科紹介では、歯科口腔外科 藏本達人医長と、心臓血管外科スーパーバイザー 山岸正明 院長特別顧問がそれぞれ治療実績や手術症例などで両科の特長を説明しました。

最後は宇治久世医師会 会長 堀内房成 先生のビデオ出演によるあいさつで締めくくりました。

参加くださった皆さま、ありがとうございました。今後も感染拡大防止に配慮しつつ、連携を深める機会をつくってまいりますので、よろしく願いいたします。



京都府立医科大学 循環器内科 准教授 全完 先生



京都岡本記念病院 泌尿器科 部長 山田恭弘



綴喜医師会 会長  
安田美希生 先生



宇治久世医師会 会長  
堀内房成 先生  
(ビデオ出演)



京都岡本記念病院  
院長 高木敏貴



京都岡本記念病院  
心臓血管外科  
院長特別顧問 山岸正明



京都岡本記念病院  
歯科口腔外科  
医長 藏本達人



京都岡本記念病院  
副院長 牧野雅弘  
(地域連携担当)



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院 地域医療連携室

TEL 0774-46-5981 (直通)

FAX 0774-46-7835 (直通)